



いつも新しい流れがある 市川

かんたん解説

市川市の財政状況

平成26年度決算版

市川市 財政部 財政課



目次

● はじめに	・・・ P1
● 予算・決算の基礎知識	・・・ P2
● 平成26年度の決算は？	・・・ P3
● 歳入・歳出は増えているの？減っているの？	・・・ P3
● 歳入決算(一般会計)の内訳は？	・・・ P4
● 歳出決算(一般会計)の内訳は？	・・・ P5
● 家計簿に置き換えて考えてみましょう	・・・ P6
● 歳入はどのように変わってきているの？	・・・ P7
● 歳出はどのように変わってきているの？	・・・ P8
● 市の借金ってどうなってるの？	・・・ P9
● 市の貯金ってどうなってるの？	・・・ P10
● 財産と借金のバランスは？	・・・ P10
● 財政状況は良いの？悪いの？	・・・ P11
● 平成26年度は、どんな事業を行ったの？	・・・ P12
● おわりに	・・・ P12

はじめに

市の予算書・決算書などは、一般的に聞き慣れない用語や数字を多く使用していますので、少しわかりづらい点もあるかと思えます。

そこで、この『かんたん解説 市川市の財政状況』では、平成26年度決算に基づいて、皆さんが納めた税金や国・県からの補助金などが、どのように使われたのか、わかりやすく説明していきます。

できるだけ身近な表現で簡潔に示していきますので、詳しい内容を知りたい方は、予算書・決算書等をご覧くださいと思います。

皆さまが、少しでも市の財政状況について理解を深めていただければ幸いです。



予算・決算の基礎知識

Q. 予算って何？

1年間に市へ入ってくる収入を見積もり、その範囲内で、何のためにどのくらいのお金を使うか計画したものです。

市では、4月から翌年3月までの1年を期間として考えます。



Q. 予算はどうやって決めるの？

市長が「当初予算」の案を作成し、前年度の2月市議会に提出します。

市議会で予算の内容を審査していただき、議決を受けて予算が成立します。



ただし、年度途中に、災害や不測の事態などが生じる場合がありますので、この場合は、年度途中に「補正予算」の案を作成して市議会に提出し、議決を受けています。

Q. 予算を使った後は？

計画した期間中に予算を執行した後、実際に入ってきたお金と、実際に使ったお金の結果である「決算」をまとめます。市の会計管理者が作成した決算書について、監査委員による審査を経て、市長が翌年度の9月市議会へ提出し、市議会の認定を受けることとなります。

■ 会計の考え方

市では、福祉・教育・道路整備・ごみ処理など、数多くの事業を行っています。お金の出し入れを分かりやすくするため、特定の収入（国民健康保険税、下水道使用料など）があるものは、お財布を分けて管理しています。

一般会計	特別会計	公営企業会計
<p>市の基礎的な行政サービスを行うための会計です。</p> 	<p>特定の目的のための会計で、市川市には、現在以下の6つがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">・国民健康保険特別会計・下水道事業特別会計・地方卸売市場事業特別会計・介護老人保健施設特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計	<p>民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営する会計で、市川市には、病院事業会計があります。</p> 



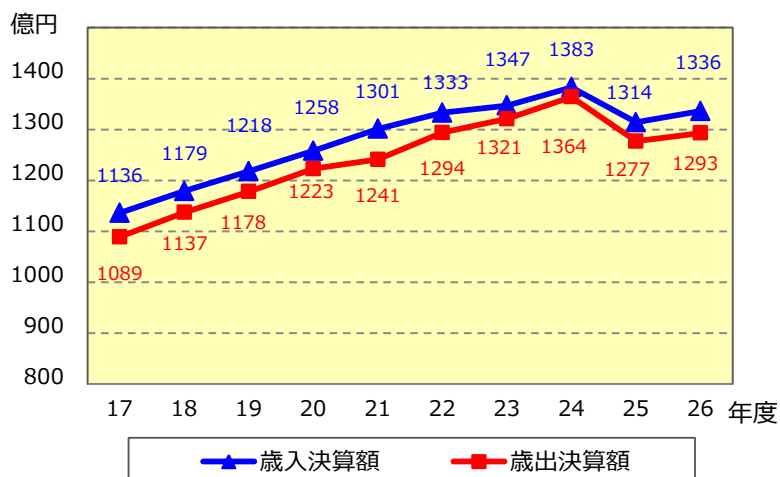
平成26年度の決算は？

それでは、平成26年度、どのくらいの収入と支出があったのか、決算の内容を見ていきましょう。
各会計の歳入・歳出決算の総額は、以下のとおりです。



一般会計		歳入 1,335億5,488万円	歳出 1,292億6,581万円
特別会計		歳入 880億7,433万円	歳出 861億4,927万円
内 訳	国民健康保険特別会計	456億7,434万円	443億932万円
	下水道事業特別会計	140億9,691万円	139億712万円
	地方卸売市場事業特別会計	1億8,557万円	1億3,910万円
	介護老人保健施設特別会計	11億723万円	10億8,866万円
	介護保険特別会計	231億1,436万円	228億2,023万円
	後期高齢者医療特別会計	38億9,592万円	38億8,484万円
公営企業会計（病院事業会計）		歳入 17億8,004万円	歳出 20億164万円

歳入・歳出は増えているの？減っているの？



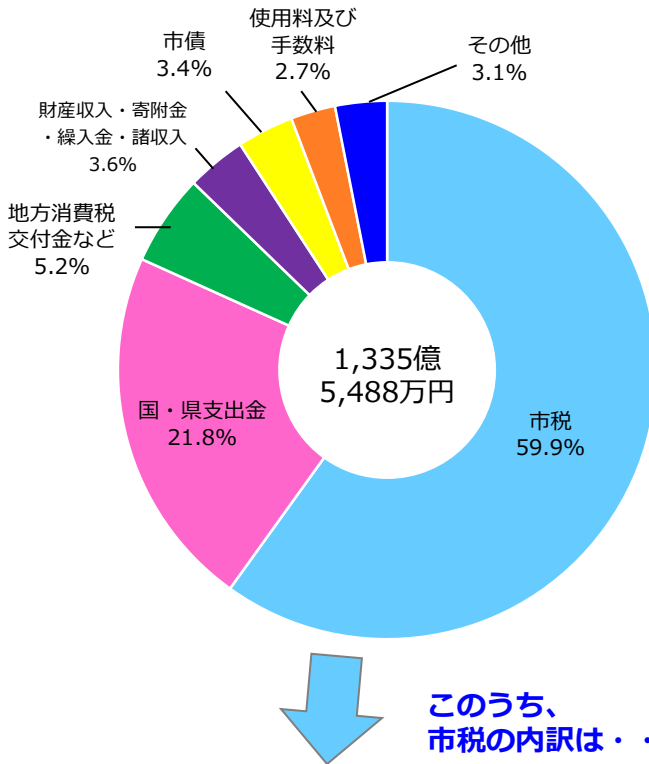
一般会計で見ると、平成26年度の歳入決算額は、前年度の1,314億円と比べ、22億円増の1,336億円となりました。

歳出決算額は、前年度の1,277億円に比べ、16億円増の1,293億円となりました。



歳入決算（一般会計）の内訳は？

このページからは、一般会計を中心に見ていきます。
歳入には、皆さんが納めた税金や、国・県から交付されるお金などがあります。内訳は、以下のとおりです。



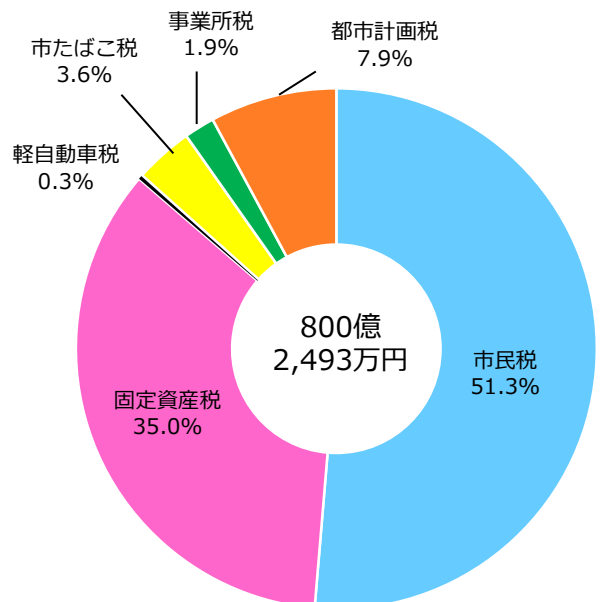
歳入 1,335億5,488万円

- **市税** 皆さんが納めた税金
- **国・県支出金** 国や県から交付されたお金
- **地方消費税交付金など** 地方消費税など、国・県の税金の一部として皆さんが納めた税金が、県から交付されたお金
- **財産収入・寄附金・繰入金・諸収入** 市有地を売却して得たお金、寄附金、貯金を取り崩したお金など
- **市債** 国や金融機関などから借りたお金
- **使用料及び手数料** 公民館の使用料や住民票の交付手数料など
- **その他** 前年度から繰り越したお金、保育料や施設の入所費用など特定の利益を受ける方が負担したお金

このうち、
市税の内訳は・・・

市税 800億2,493万円

- **市民税** 皆さんが納める「個人市民税」と、市内の会社などが納める「法人市民税」
- **固定資産税** 市内に土地・家屋などを持っている人や会社が納める税金
- **軽自動車税** 原動機付自転車・軽自動車などを持っている人や会社が納める税金
- **市たばこ税** たばこの卸売業者などから市内の小売店などに売り渡されたたばこに対してかかる税金
- **事業所税** 都市環境の整備・改善のために、事業所が納める税金
- **都市計画税** 市の市街化区域内に、土地・家屋を持っている人や会社が納める税金

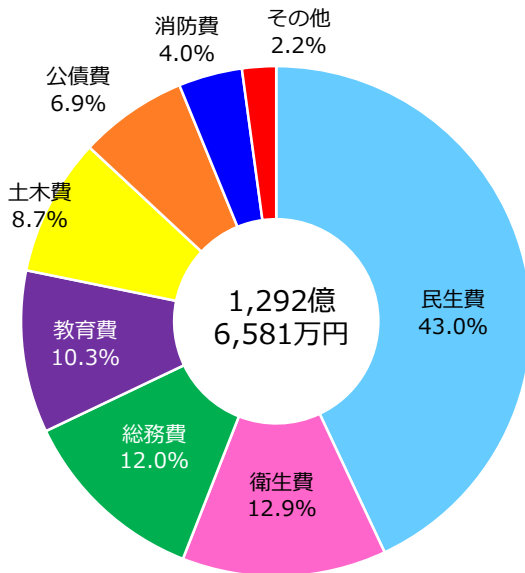


歳出決算（一般会計）の内訳は？

歳出については、何のために使ったか（目的別）、どのような用途に使ったか（性質別）に分けて、それぞれ見てみましょう。



何のために使ったか（目的別）

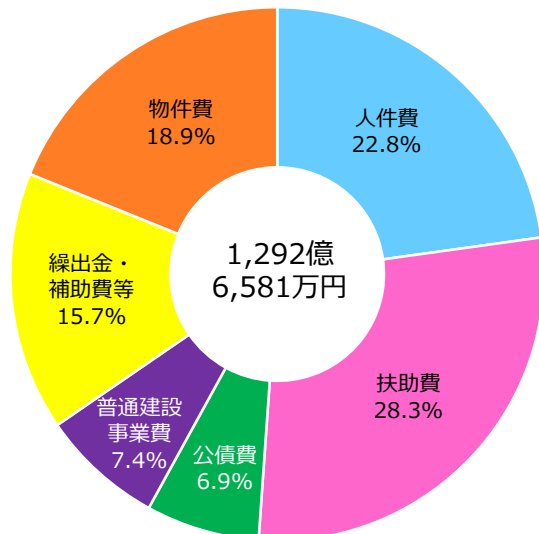


- **民生費**
高齢者、障害者、児童などの福祉の費用
- **衛生費**
ごみ処理、がん検診、予防接種などの費用
- **総務費**
文化振興や防災対策、情報化推進などの費用
- **教育費**
小・中学校、幼稚園、生涯学習振興などの費用
- **土木費**
道路、河川、公園などの費用
- **公債費**
国や金融機関から借りたお金の返済費用
- **消防費**
消防・救急活動の費用
- **その他**
商工業振興費などの費用

民生費が43%と大きい割合を占めています。これには、生活保護費や児童手当などが含まれています。

どのような用途に使ったか（性質別）

- **人件費**
市職員の給与や手当などを支払うための費用
- **扶助費**
医療に関する経費や、生活保護・児童手当の給付、私立保育園の運営費補助などにかかる費用
- **公債費**
国や金融機関から借りたお金の返済費用
- **普通建設事業費**
道路や公園、学校など公共施設の建設や改修などにかかる費用
- **繰出金・補助費等**
特別会計の歳入を補うための費用や、各種団体に対する補助にかかる費用など
- **物件費**
電気料金や消耗品の購入費、委託料など



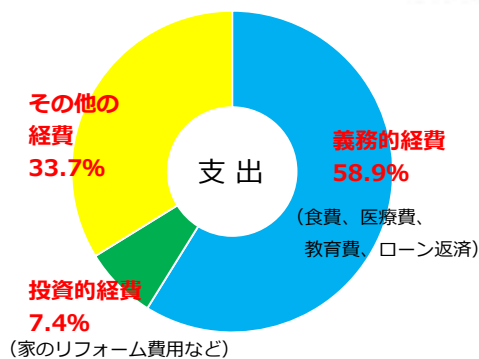
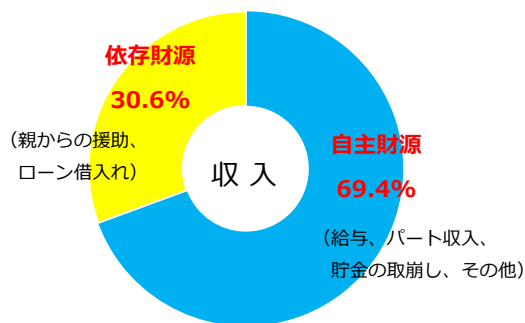
家計簿に置き換えて考えてみましょう

数字が大きすぎて、なかなかイメージしにくいので、市民一人あたりで計算し、家計簿に置き換えて考えてみましょう。

(市の人口：47万4,340人：平成27年3月31日現在・住民基本台帳人口)



収入		支出	
・給与 (市税)	168,708円	・食費 (人件費)	62,077円
・パート収入 (使用料・財産収入など)	13,208円	・医療費、教育費 (扶助費)	77,083円
・親からの援助 (国・県支出金・ 地方消費税交付金など)	76,613円	・光熱水費、通信費 (物件費)	61,816円
・ローン借入れ (市債)	9,572円	・車のローン返済 (公債費)	18,729円
・貯金の取崩し (繰入金など)	1,370円	・家のリフォーム費用 (普通建設事業費)	20,228円
・その他 (繰越金など)	12,088円	・子どもへの仕送り (繰出金など)	26,562円
		・雑費 (家具の修繕費など)	4,570円
		・貯金 (積立金)	1,452円
合 計	281,559円	合 計	272,517円



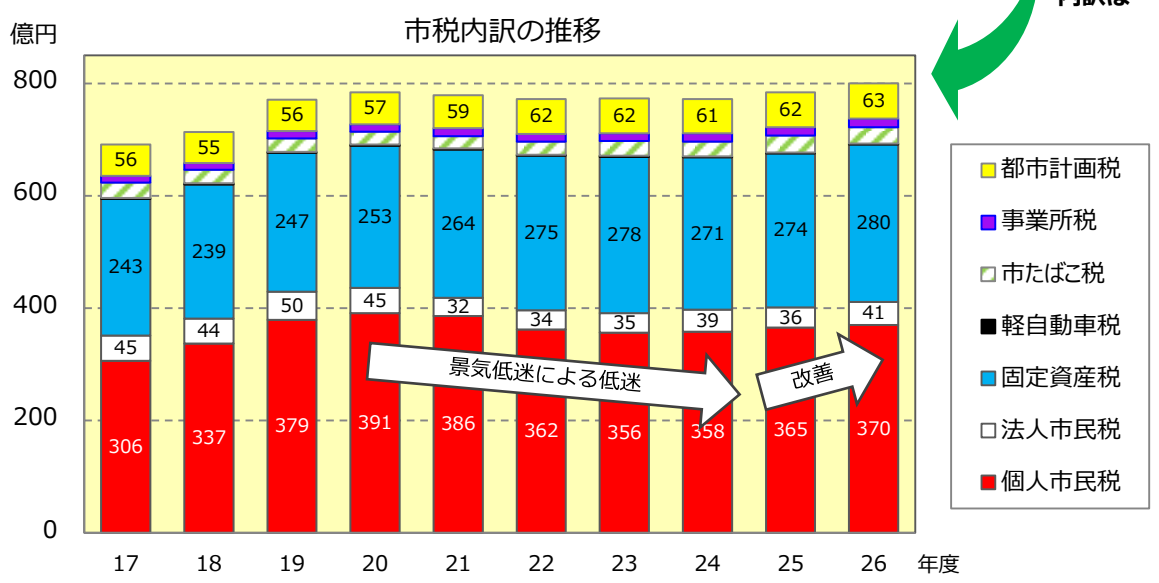
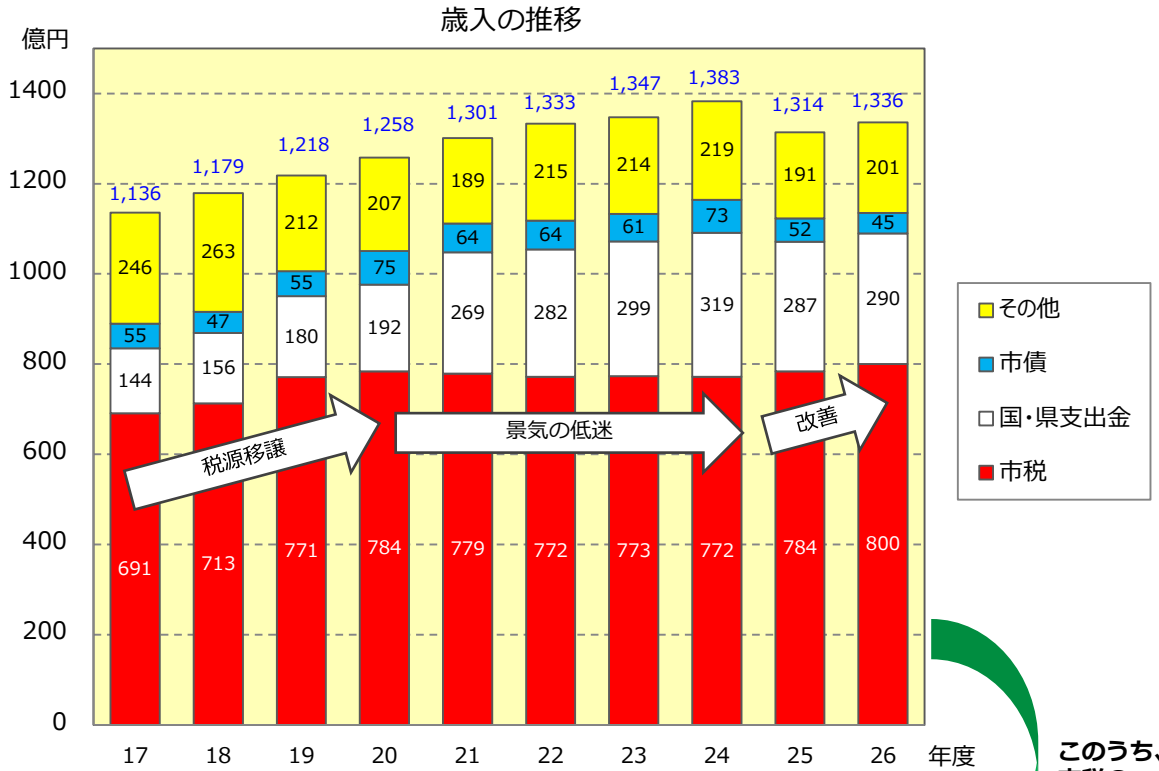
給与やパート収入など(自主財源)だけではやりくり出来ず、親からの援助や借入れなど(依存財源)に頼っている状態です。ただし、他市と比べれば、自主財源の割合は高くなっています。

食費や医療費、ローン返済など、必ず支払わなければならない節約できない経費(義務的経費)が、大きな割合を占めています。



歳入はどのように変わってきているの？

歳入の総額は概ね増加傾向にあります。歳入の中心である市税収入の額は、景気の低迷などによりここ数年横ばい傾向にありました。しかし、平成25年度から26年度においては、国による経済対策が着実に実施されてきたことなどから、市税収入の伸び悩みが改善しつつあります。

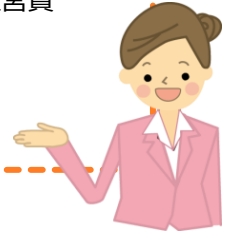


このうち、市税の内訳は…

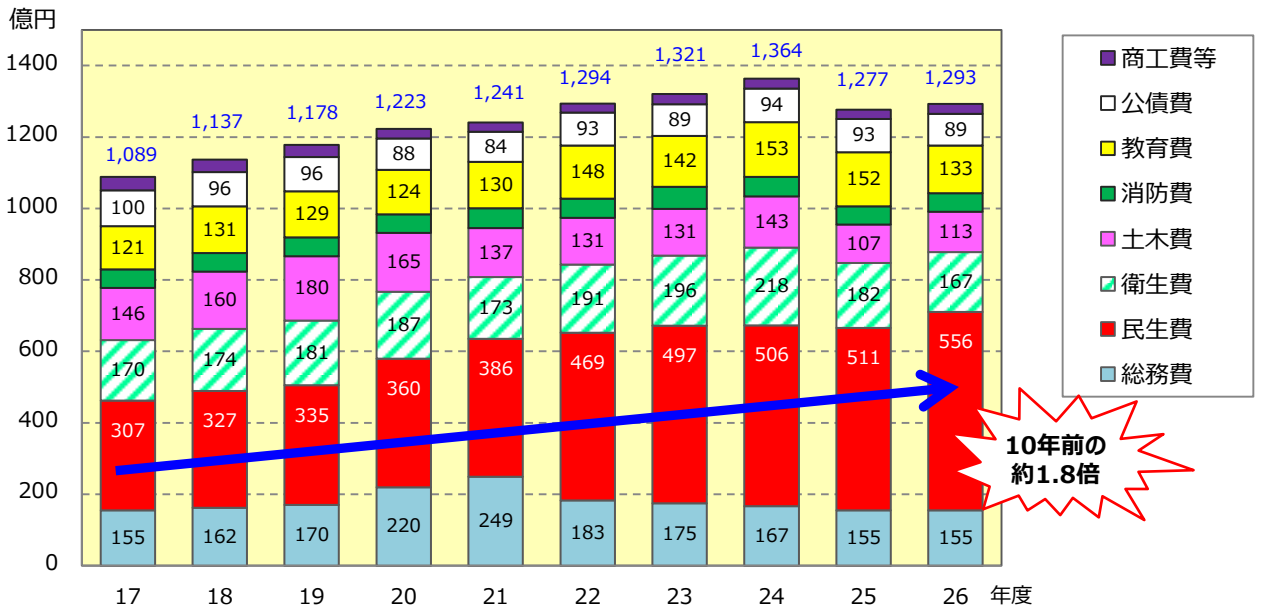


歳出はどのように変わってきているの？

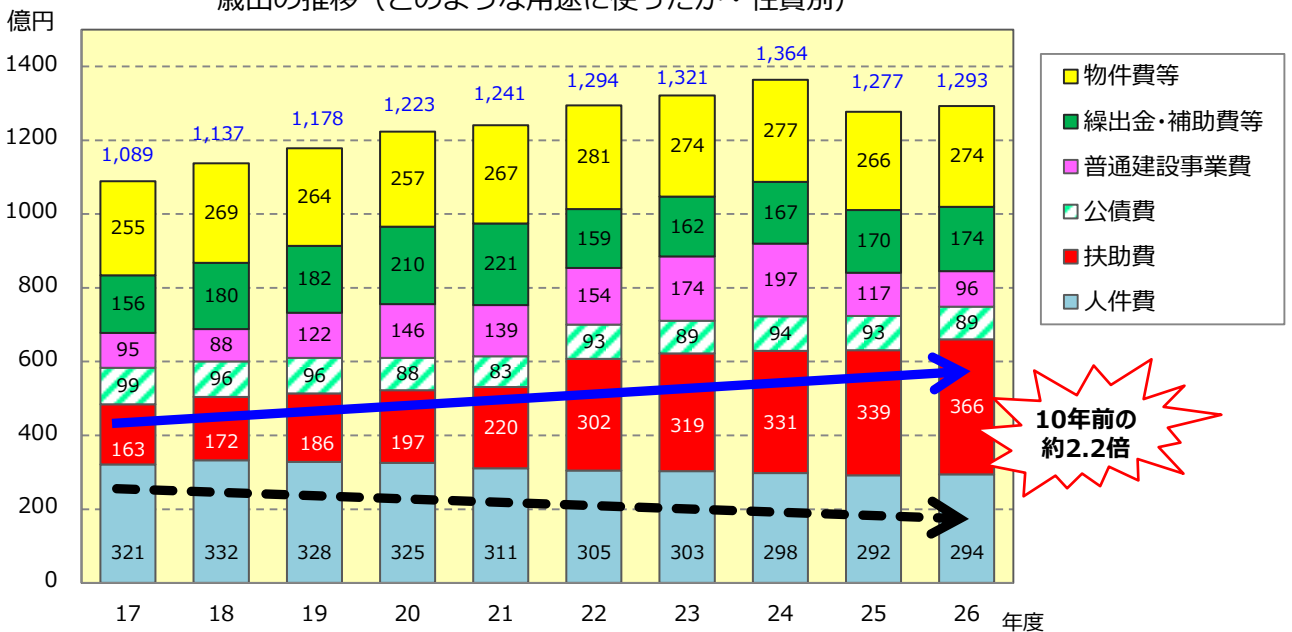
扶助費（医療に関する経費や、生活保護・児童手当の給付、私立保育園の運営費補助などにかかるお金）が、10年前の約2.2倍に増加しています。
これに伴って民生費も増加し、10年前の約1.8倍となっています。
扶助費は、今後も増えていく可能性が高く、削減が難しいため、他の支出の見直しを図っています。例えば、人件費の削減を進めています。



歳出の推移（何のために使ったか・目的別）



歳出の推移（どのような用途に使ったか・性質別）



市の借金ってどうなってるの？

これまで見てきたとおり、市は、市債を発行（借金）しています。

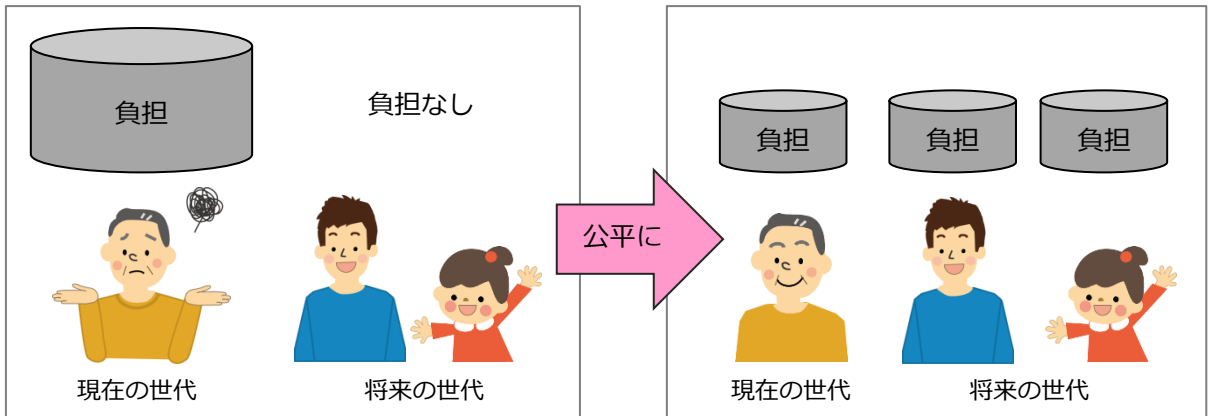
Q. なぜ借金をしているの？

A. 収入と支出の年度間調整を行うためです。

例えば、災害復旧や大規模な建設事業を行うには、多額の費用が必要です。その年度の収入だけで支払おうとすると、他の事業に大きな影響が出てしまいます。

A. 世代間の負担の公平性を確保するためです。

例えば、道路や公園、学校などは、長期間にわたり使用していくものです。これから転居してくる方など、施設を使用する将来の市民にも、費用を負担してもらう必要があります。

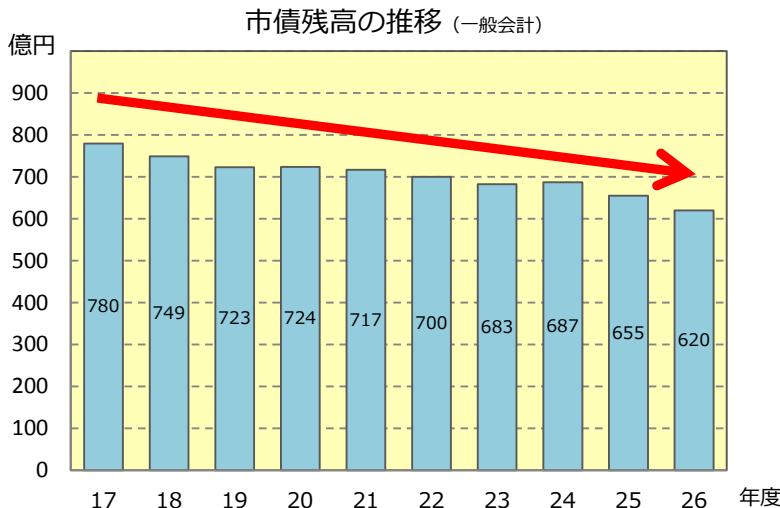


Q. ちゃんと借金は返せているの？

A. 着実に返済を進めています。

Q. 一人あたりの残高は？

A. 130,625円です。
平成25年度に比べ7,524円減少しました。

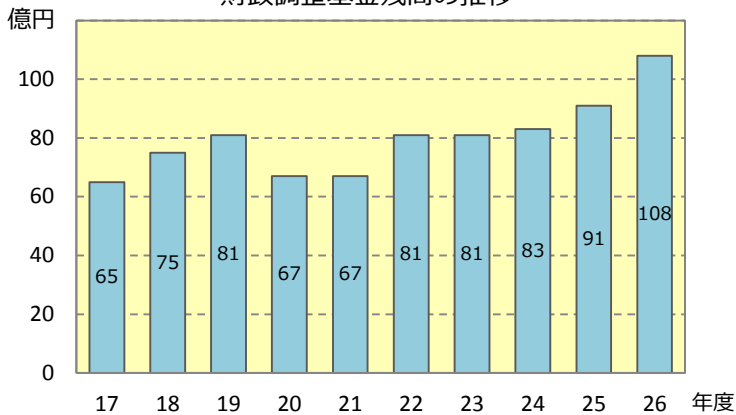


市の貯金ってどうなってるの？

市は、特定の目的のために資金を積み立てたり、定額の資金を運用するために、貯金をしています。
これを「基金」と呼び、市川市には現在、15種類の基金があります。



財政調整基金残高の推移



例えば、15種類ある基金の一つ、「財政調整基金」は、年度間の財源のバランスを調整するための基金です。

経済事情の変動でお金が不足したり、災害や大規模事業の経費が必要となった場合など、やむを得ない事情があった場合に切り崩して活用しています。

財産と借金のバランスは？

一般の家庭と同じように、市にも現金や土地、建物などの財産があります。
これを表した、市の貸借対照表（企業会計に準じた財務書類）を見てみましょう。
左側が今まで作ってきた「資産」、右側がその資産を作るのにどうやってお金を集めたかを表す「負債」と「純資産」です。

貸借対照表（平成27年3月31日現在、連結会計ベース）

資 産	負 債	
<p style="text-align: center;">約1兆666億円</p>	<p>これからローンを返済しなければならないもの</p> <p style="color: blue; font-weight: bold;">約1,433億円</p>	
	<th style="background-color: #008000; color: white; text-align: center;">純 資 産</th>	純 資 産
	<p>これまで市民の皆さんが負担し、既に支払いを済ませた正味の資産</p> <p style="color: green; font-weight: bold;">約9,233億円</p> <p style="color: green;">前年度と比べ、約98億円増となりました。</p>	

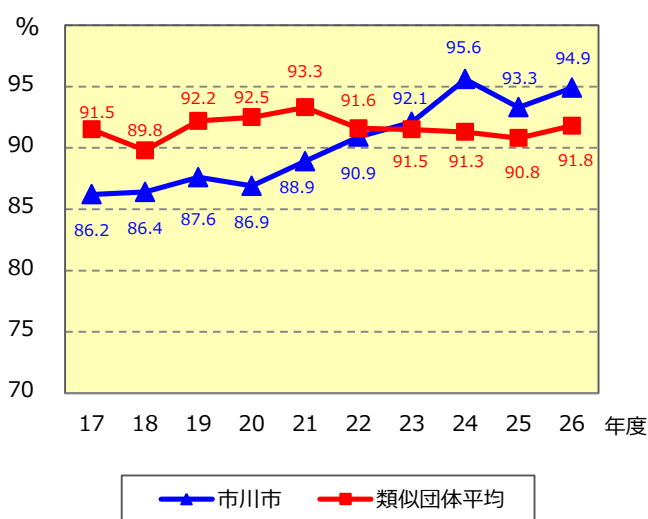


財政状況は良いの？悪いの？

市の財政状況を、様々な指標を使って見てみましょう。

(1) 経常収支比率

「経常収支比率」とは・・・



$$\frac{\text{生活費 (医療費・食費・借金返済等)}}{\text{使い道が自由な収入 (給与・パート収入等)}} \times 100 (\%)$$

比率が高いほど、自由に使えるお金が少なく、余裕がないこととなります。
市川市は現在、余裕がない厳しい状況です。



(2) 健全化判断比率

健全化判断比率とは・・・

自治体の財政破綻を未然に防ぐことを目的に、平成19年に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が定められました。一般会計（自分の世帯）だけの状況だけでなく、特別会計など（影響を受ける子どもの世帯）を含めた状況を見るもので、次の4つがあります。

- ① 実質赤字比率 : 自分の世帯の年収に占める赤字の割合
- ② 連結実質赤字比率 : 自分の世帯の年収に占める赤字（子どもの世帯を含む）の割合
- ③ 実質公債費比率 : 自分の世帯の年収に占める借金返済額の割合
- ④ 将来負担比率 : 自分の世帯の負担になる借金総額が、自分の世帯の年収の何年分に相当するかを示した割合

	市川市 (26年度決算)	イエロー カード 基準	レッド カード 基準
①実質赤字比率	- (赤字なし)	11.25%	20%
②連結実質赤字比率	- (赤字なし)	16.25%	30%
③実質公債費比率	0.7%	25%	35%
④将来負担比率	-	350%	

市川市は、いずれも健全な状態と言えます。



平成26年度は、どんな事業を行ったの？

例えば・・・

子ども・子育て支援 12億2,273万円

私立保育園の整備費用の一部を補助したほか、簡易保育園利用の経済的負担軽減のための補助金を交付しました。また、障害児支援や保育クラブに利用できる複合施設の開設などを行いました。



健康づくり 26億73万円

血液検査で調べる胃がんリスク検診などの各種がん検診を実施したほか、予防接種では、ヒブ、小児用肺炎球菌などに加え、高齢者肺炎球菌や水ぼうそうの予防接種を新たに行いました。

防災対策 56億5,428万円

市街地浸水対策として、雨水管や大和田ポンプ場などの整備を進めました。また、防災行政無線の電話自動応答装置の導入や、地区別減災マップの作成などを行いました。



都市基盤整備 24億2,339万円

公共下水道や都市計画道路3・4・18号の整備を進めました。また、狭あい道路の改善のため、セットバック部分を寄付する際に必要な費用を助成しました。

教育の振興 17億9,527万円

校内塾・まなびくらぶの新設やヘルシースクールを実施したほか、塩浜小中一貫校を開校しました。また、小中学校の校舎等耐震補強工事や建て替え工事などを進めました。



おわりに

これまでお話ししてきたとおり、市川市は現在、健全な財政状況にはあるものの、借金や貯金の取崩しも行っている状況です。

社会保障に関係する費用や、老朽化してきた公共施設への対応など、今後、更に歳出が増加することも見込まれますので、事業の優先度・緊急性などを踏まえながら、市民の皆さまのニーズにお応えするため、事業を進めてまいります。

ご理解ご協力をいただきますよう、お願いいたします。

平成27年12月 市川市 財政部 財政課

